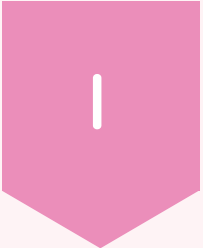


福島市職員 ひとり1改善・1改革運動 「かえるチャレンジ」



令和7年7・8・9月分
月間賞 受賞一覧





《改善》 介護認定申請の進捗確認は、 電話や窓口ではなく定期配信ツールで！

〈取組内容〉

介護保険認定申請は月に約1,000件あり、進捗状況の確認に関する電話・窓口対応が1日80件近く発生していた。職員が「進捗確認ツール」を作成し、週2回介護事業所へメールで配信する仕組みを導入した。

〈効果〉

- ・問い合わせが1日1件程度に減少し、進捗確認に関する対応が年間480時間削減した。
- ・事業所・職員双方の負担が大幅に軽減され、サービス向上につながった。

《改善》 A I を活用した各種事務の効率化

〈取組内容〉

- ①会議録作成：会議で頻出する専門用語を A I で抽出・取込可能な C S V にデータ化し、音声文字起こしシステム「ProVoXT(プロボクスト)」に単語登録することで、文字起こしの精度が向上した。
- ②訃報情報確認：訃報データと歴代会長のデータを A I で突合することで漏れやミスを防止した。
- ③プロンプト集：プロンプトを蓄積することで再現性を確保した。

〈効果〉

- ・ A I 活用の有効性を実証し、庁内全体へ横展開が期待される。

《改善》 Excel VBAによる、電線管サイズ自動計算ツールの開発

〈取組内容〉

電線管サイズ選定を手作業で行っていたため、時間を要し、誤りも発生する可能性があった。Excel VBAで自動計算ツールを開発し、専門知識がなくても適正サイズを選定することが可能となった。

〈効果〉

- ・ 1件あたり3時間、年間225時間の削減を実現。
- ・ 誰でも正確に作業できるようになり、設計精度の安定と業務の効率化、標準化を実現した。

《改善》 小児慢性特定疾病医療費支給認定 更新手続きの簡便化

〈取組内容〉

申請手続きの不備や待ち時間を改善するため、案内を冊子化し見やすく整理した。また、オンライン申請と予約制を導入した。

〈効果〉

- ・ 不備や問い合わせが減少し、受給者証を円滑に発行できるようになった。
- ・ 記入・印刷業務を削減し、来庁者の滞在時間も短縮した。

《改善》 カッティングマシンを用いた 看板の作成・修繕

〈取組内容〉

工事看板や道路標識の作成・修繕を業者に依頼していたため、費用や保管場所が課題だったが、カッティングマシンで文字シールを自作し、看板作成や標識修繕を行った。

〈効果〉

- ・ 繰り返し使用できることで購入・修繕費を約23万円削減した。
- ・ レイアウト調整も容易で視認性が向上し、低コストで即応性の高い維持管理を実現した。

《改善》道路路側帯カラー舗装の内容見直し

〈取組内容〉

通学路の安全確保のため実施しているカラー舗装を、従来の全面舗装から外側線沿いの幅0.2m舗装へ変更した。

〈効果〉

- ・視認性を維持しながら施工面積を縮小することで、1箇所当たりの費用を削減し、施工距離を従来の2.5倍に延長することが可能となった。
- ・より多くの要望箇所に対応可能となった。
- ・安全性とコスト効率を両立した取り組みである。